

令和2年度 星翔高等学校 学校評価

1 めざす学校像等

(1) すべての教育活動に通底する基本姿勢

浪速工業高校時代から連綿と引き継がれてきた個に応じた粘り強い指導、面倒見のよさ。

(2) めざす学校像

これまで培ってきた伝統や教育活動を踏まえ、以下の学校像を継続、発展させていく。

「工業科、普通科、国際科を有する総合高校の強みを生かし、中学校までで力を十分、発揮できずにいた生徒にも、興味・関心、適性に応じて、多様な学びの入り口を提供し、基礎学力、規範意識を基底とした各科・コースで育てたい学力・能力・技能等を身につけさせることにより、進路を保障する学校。」

(3) 各科・コースで育成したい学力・能力・技能等の概要及び卒業後の進路

	工業科	普通科		国際科
	機械、電子機械 電気、コミュニケーションシステム	アドバンス	キャリア	スポーツ
育成したい学力・能力・技能等	「ものづくり」の技術と技能、知識	大学進学へ向けての意識の醸成及び中堅大学以上の合格をめざすための学力 (H30 入学生まで) ----- 難関大学に合格するための学力 (H31 入学生から)	多様な進路ニーズに対応できる基礎学力及び探究学習やキャリア選択授業を通じて育成される主体的に進路を選択する能力・態度	スポーツ技術・技能及び部活動等を通じて育成される人間力
	基礎学力・規範意識 (基本的生活習慣)			
進路	(理工学系) 大学 就職、専門学校	大学・専門学校等 (H30 入学生まで) ----- 四年制大学 (H31 入学生から)	大学、専門学校 就職	(体育系) 大学、専門学校 就職

2 中期的目標

I. 新学習指導要領を踏まえた確かな学力の育成と授業改善、教育課程 (学科) の改編

(1) 授業の質の向上を図り、基礎的・基本的な学力が定着できるよう、授業改善に取り組む。

ア 生徒の実態を把握し、「わかる授業」「魅力ある授業」を推進する。そのため、教員に授業に対する改善意識を醸成するため、生徒に対する授業アンケートを実施する。

イ 教員の授業力向上のため、教員相互の授業見学や研究授業の活性化と、外部との連携による研修の充実を図る。

ウ 基礎学力等を把握することを目的とした診断テスト実施のための事前指導、その結果を踏まえた補習等のしくみを構築し、基礎学力の底上げを図る。

(2) 工業科の「ものづくり教育」を通じて、意欲をもって学習に取り組む生徒を育成する。

ア 資格取得指導等を通じて、生徒に達成感、成就感を醸成し、進路実現への意欲を高める。

イ 女子のニーズに応える新学科 (コース) の設置も視野に入れながら、工業科の再編整備を進める。

II. 自立・自己実現の支援

(1) 生徒の規範意識を醸成し、規律ある学校生活を送らせるとともに、個々の生徒への支援体制を充実させる。

ア 生徒にマナーの向上とルールを厳守させ、問題行動の防止や遅刻件数・転退学率の減少に努める。

イ 教育相談体制を充実させるとともに、人権教育・支援教育を推進する組織の活性化を図る。

(2) 生徒会活動、行事等を通じて生徒の自己有用感を醸成するとともに、集団や学校への帰属意識を高める。

ア 生徒会活動、行事等の活性化を図り、生徒自らが課題意識をもって学校生活を送れるよう支援する。

(3) キャリア教育・職業体験教育の充実を図る。

ア 「インターンシップ」等の体験的学習を重要な教育活動として位置づけ取り組む。

イ 普通科キャリアコースのキャリア選択授業における専門学校との連携授業を継続的に発展させる。

(4) 自己実現に向けた支援を図る。

ア 進路実現に向けた分掌・学年・教科の連携を深め、生徒の自己実現に向けた指導の充実を図る。

イ 普通科アドバンスコースの指導充実を図り、国公立大学も含めた難関大学への進学実績をつくる。

III. 信頼される魅力ある学校づくり

(1) 渉外 (生徒募集) 活動の改善を進め、入学者数の増加を図る。

ア 1 学年 300 名以上の生徒数確保、900 名以上の規模を維持し、財務状況の安定化を図り、設備投資等へ備える。

(2) 生徒のよりよい学校生活を支えるため、学校組織、施設設備等の改善を進める。

ア 部活動を活性化し、生徒の加入率の向上に努めるとともに、施設設備の充実、安全対策の改善に取り組む。

イ 推薦クラブ、クラブ種目等の見直しを含めた国際科スポーツコースの充実、改善を検討する。

ウ 校内業務の精選と組織分掌等のスリム化 (校内組織の再編整備) をめざし、協議、検討を進める。

エ 情報の共有化、迅速化を図るため、校内イントラネットの構築を急ぐとともに、並行して校務の ICT 化を進める。

オ 耐震化をベースに、歴史を重ねた校舎の風合い、空気感を生かした改修についても検討する。

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [令和2年12月実施分]	学校評価委員会からの意見
<p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年の学年比較でみると、ほとんどの設問項目で、肯定的な回答(よくあてはまる、ややあてはまるの合計)が増加しており、平均では6.2%増加した。 ・生徒の学校生活に対する満足度をはかる最も端的な設問項目である「学校へ行くのが楽しい」について、肯定的な回答(学年平均)が、令和元年度は68.4%であったが、令和2年度は、76.5%と大きく改善した。同様に、「授業は、わかりやすく楽しい」「入学してよかった」についても、肯定的回答の増加が著しい。 <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度と比較すると、多くの設問項目で、肯定的回答は微増傾向であったが、「子どもをこの学校に入学させてよかった」は76.4%から84.7%とさらに高い水準で増加していることが特筆される。 ・一方、保護者自身が行動する項目「授業参観や学校行事に参加したことがある」「保護者会活動は活発に行われている」は、新型コロナウイルス感染症対策のため関連する行事が中止になったこともあり、肯定的回答が相対的に低くなった。 ・生徒と共通した設問項目は概ね相関関係が見られ、保護者と子どもの関係性が良好であることを窺わせる。 <p>【教職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導、生徒指導、進路指導、特別教育動等に関する設問項目について肯定的回答の割合が高く、多くの教員が日常の教育活動に意欲的に取り組み、成果を上げていると自己評価している。 ・一方、学校運営等については、相対的に肯定的評価が低い項目がある。 <p>【分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒、保護者ともに、学校の教育活動全般における教職員の活動、指導を、肯定的に評価している。 ・生徒は、挨拶も日常的にできており、外来者から褒め言葉をもらうことも多く、学校生活に対する満足度も高い。学校としては、非常に落ち着いた佇まいを示している。 ・一方、学校運営等における教職員による自己評価で、相対的に低評価の項目については、校長等のリーダーシップによる改善が求められる。 	<p>【中期的目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標内容は充実している。 ・教員のレベルアップのため、学期ごとに各教科が授業見学をして研修を行う。 ・低学力生徒に対して、学期ごとに補習するシステムをつくる。 ・工業科は資格取得をメインに考え、ものづくりに興味を持たせる。 ・信頼される興味ある学校づくりのために、星翔高校の良さを上手く伝えていただき、目標である300名の生徒が入学できるよう取り組んでいただきたい。 <p>【確かな学力の育成と授業改善・学科の改編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートで、「知識や技能が身についたと感じている」という設問に多くの子どもたちが、そう思うという結果は、評価できる数字であると思う。学科によっても違うだろうが、社会で役立つ技能が身につくことはとても大切であると思うので、今後も意識して取り組んでいただきたい。 ・教科ごとの公開授業と学期ごとの授業参観で教員の授業力を向上させる。 ・国家資格に前向きな工学科とそうでない工学科があるのではないかと。 ・入学試験において、すべての学科で5教科入試が必要である。 ・生徒の「知識を高める授業」を行うことを考えてほしい。「高めるとは」①専門的知識を深める②科目分野を広く捉える ことで発想力(ひらめき、アイデア)が豊かにする力を養うことである。 <p>【自立・自己実現の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校は義務教育ではないということと、この大切な時期に社会にでるための準備期間であり、自分の人生を左右する重要な3年間であることを社会のルールとともにしっかりと伝えていただき、それぞれの子供が目標をもって卒業できるよう丁寧に指導して下さることを期待する。 ・進路に不安を感じている生徒へ「自信」を抱く指導を行ってほしい。生徒が勇気(チャレンジ精神)を抱くケアを行ってほしい。 ・生徒指導部の強化が必要。遅刻の多いクラスは何故か？ ・生徒会活動が活性化するための指導が大事であり、取り組みが不十分である気がする。 ・各運動部を使って、学校周辺の清掃活動を義務化させるのもよいのではないかと。 ・キャリア選択授業について、女子生徒向けに人気の職種である医療事務や調剤薬局事務を入れてはどうか？ <p>【信頼される魅力ある学校づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渉外活動には本気の本気で頑張ってもらいたい。 ・中学校、塾訪問を粘り強く継続してほしい。なかでも、塾との関係が上手く保たれているのか気になっている。 ・校長から遠慮せず、時々、気合いをかけることも必要ではないかと。 ・制服について、男子はダブルをやめてシングルに、女子向けには色使いに工夫が必要。 ・授業アンケート結果の授業満足度が80点台であるが、渉外活動で信頼される魅力ある学校の評価を得るために、90点以上をめざしてほしい。 ・今の時代、情報がたくさんとれる時代であるがゆえにホームページやSNSを利用するなど、差別化してこの学校で学びたいと思ってもらえるような取り組みに可能な限り挑戦していくことが必要であると思う。 <p>【全体を通して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・星翔高校のイメージを中学生に聞いたことがあるが、一番多く言われることが、学校が汚いということである。女子生徒の確保もしなければならぬなか、学校が汚いというイメージはマイナスにはたらくと思う。古い=汚いではなく、少しの工夫で変わらぬと思う。 ・高校での学習が未来に繋がる(無駄と感ぜない)と、生徒が抱くことが重要と考える学校教育を行ってほしい。 ・本当の意味での面倒見のよい学校になってほしい。 ・校務分掌の改編が必要かもしれない。

	重点目標	具体的な取り組み	評価指標	自己評価
I 確かな学力の育成と授業改善・学科の改編	<p>(1) 確かな学力の育成と授業改善</p> <p>ア 「わかる授業」「魅力ある授業」の推進</p> <p>イ 教員相互の授業見学や研究授業の活性化、外部との連携による研修の充実</p> <p>ウ 基礎学力の底上げ</p> <p>(2) ものづくり教育</p> <p>ア 資格取得への支援</p> <p>イ 工業科の再編整備</p>	<p>(1)</p> <p>ア・ベル始業、終業のさらなる徹底を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒に対する授業アンケートを実施する。 1年普通科キャリアコースにおける探究授業(クエストコーポレートアクセス)を継続して実施する。 <p>イ・校長による授業を担当する教員に対する授業見学を継続実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科ごとの公開授業を実施する。 ウェブでの授業研究サービスの導入検討。 保護者の授業参観を実施する。 <p>ウ・基礎力診断テストにおけるGTZ(学習到達ゾーン)D3の生徒対象の補習等について、実施の方向を探る議論を積み上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> SHRを活用した朝学習を実施する。 <p>(2)</p> <p>ア・第二種電気工事士等の国家資格を中心とした様々な資格取得指導を組織的に進め、生徒に達成感、成就感を醸成する。</p> <p>イ・機械・電子機械工学科について、教育目標の違いを明確にし、実習を中心として、カリキュラム改善の検討を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 女子の志願者増加につながる学科新設の議論を進める。 	<p>(1)</p> <p>ア・教員の自己評価における肯定的回答95%以上(R1 93.7%)。</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業アンケートの設問「授業を受けて、知識や技能が身についたと感じている」(授業満足度)70%以上。 クエストカップ全国大会出場。 <p>イ・非常勤講師を含めた全教員に対して実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1教科1名実施。 導入、実施。 保護者70組以上(R1 63組)の参加。 <p>ウ・次年度に向けての実施計画素案を策定。</p> <ul style="list-style-type: none"> 数・国・英について実施、取り組みの定着。 <p>(2)</p> <p>ア・第二種電気工事士試験合格率80%以上(R1 83%)。ジュニアマイスター(星翔マイスター)認定者の増加。</p> <p>イ・実習内容の改善。</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本構想の策定。 	<p>(1)</p> <p>ア・肯定的回答100%。(◎)</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業アンケート初実施。授業満足度結果82%(◎) 全国大会(ファーストステージ)に出場。(◎) <p>イ・R2年度については、理事長が実施(△)</p> <ul style="list-style-type: none"> 未実施。(△) 夏期研修として全教員が視聴。(○) コロナ禍で未実施。(△) <p>ウ・未実施。(△)</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で未実施。(△) <p>(2)</p> <p>ア・第二種電気工事士については、R2年度より、全員受験、合格率50%。(△)</p> <ul style="list-style-type: none"> 星翔マイスター認定者14名(ゴールド、シルバー各7名)。(△) <p>イ・無人回航翼航空機(ドローン)に関する資格取得ができるよう、日本USA産業振興協会(JUIDA)の高校初の認定スクールとして、「星翔高等学校ドローンスクール」を開校。R3年の実習授業に「ドローン」に関する内容を導入。(○)</p> <ul style="list-style-type: none"> 未実施。(△)
II 自立・自己実現の支援	<p>(1) 規範意識の醸成</p> <p>ア マナーの向上とルール厳守、問題行動の防止や遅刻件数・転退学率の減少への取り組み</p> <p>イ スマートフォン等の使用に係る指導</p> <p>ウ 教育相談体制の充実</p> <p>(2) 生徒会活動、行事等を通じた生徒の自己有用感、帰属意識の醸成</p> <p>ア 生徒会活動の活性化</p> <p>イ 行事等の改善、充実</p> <p>(3) キャリア教育・職業体験教育の充実</p> <p>ア インターンシップの充実</p> <p>イ キャリア選択授業の充実</p> <p>(4) 生徒の自己実現の支援</p> <p>ア 進路実現に向けた指導の充実</p> <p>イ 進路希望の実現</p>	<p>(1)</p> <p>ア・集会時や日々の学校生活における啓発に加え、無遅刻週間、立ち番指導等、生徒の意識を喚起する取り組みを全校あげて組織的に推進し、問題行動防止に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> きめ細かな生徒指導、学習指導により転退学率の減少を図る。 <p>イ・「授業中は触らない」ことを教職員一丸となって生徒に周知徹底するとともに、校内における節度ある使用(マナー遵守)について理解させる。また、授業中の使用に対する生徒指導部による指導を継続実施する。</p> <p>ウ・特別支援教育コーディネーターを中心に関係教員の連携を強化するとともに、生徒相談委員会のしくみを機能させ、相談対応の充実を図る。</p> <p>(2)</p> <p>ア・清掃活動等、社会貢献につながる活動に取り組む</p> <p>イ・内容、実施時期も含めて、行事全般の見直しを検討する。</p> <p>(3)</p> <p>ア・来年度からの実施時期、対象者等の見直しを継続して検討する。</p> <p>イ・2、3年キャリアコースにおける選択授業を継続的に取り組めるよう専門学校との連携を深めるとともに、大学との連携も検討する。</p> <p>(4)</p> <p>ア・生徒の自己実現の取り組みを支援するため、進路に関する保護者への啓発に係る学校行事(説明会)等の設定を検討する。</p> <p>イ・就職希望者の進路実現に向け、夏期休暇中の就職講座を継続実施するなど、きめ細かな進路指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> アドバンスコースをはじめ大学進学希望者の進路実現に向け、外部の諸機関、スタッフと連携し、きめ細かな進路指導を行う。 	<p>(1)</p> <p>ア・遅刻総数5,000以下に削減。(R1 5793)問題行動の指導件数(R1 37)の減少。</p> <ul style="list-style-type: none"> 転退学率4.5%以下(R1 5.7%)。 <p>イ・年間指導件数50件以下(R1 66)。</p> <p>ウ・学校教育自己診断「保健室や教育相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる」の肯定的回答55%以上(R1 51%)。具体的な相談成果。</p> <p>(2)</p> <p>ア・摂津市のボランティア活動に参加。</p> <p>イ・課題意識の共有、意見集約。</p> <p>(3)</p> <p>ア・計画策定。</p> <p>イ・生徒に満足度アンケートを実施し、肯定的回答70%以上。</p> <p>(4)</p> <p>ア・次年度へ向けの実施案を策定する。学校教育自己診断「進路についての情報を知らせてくれる」について、肯定的回答75%以上。</p> <p>イ・就職希望者内定率100%(R1 100%)。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学進学希望者内定率100%(R1 99%)。 	<p>(1)</p> <p>ア・遅刻総数5,867。(△)問題行動指導件数28。(○)</p> <ul style="list-style-type: none"> 転退学率4.5%。(○) <p>イ・年間指導件数31件。(○)</p> <p>ウ・肯定的回答58%、生徒相談数59(R1 53)、組織的な支援体制(高校生活支援カード→個別の教育支援、指導計画作成→教科担当へのフィードバック依頼)が定着しつつある。(○)</p> <p>(2)</p> <p>ア・生徒会主催で美化ボランティア活動に3回(延べ45名)参加。クラブ役員による清掃活動も実施。(○)</p> <p>イ・未実施。(△)</p> <p>(3)</p> <p>ア・コロナ禍のためインターシップ、見直し検討は未実施。(△)</p> <p>イ・肯定的回答(授業内容は、自分の興味・関心に合っている)71%。(○)</p> <p>(4)</p> <p>ア・保護者への啓発行事(説明会)をR3年度年間行事予定に位置づけた。肯定的回答82%。(○)</p> <p>イ・就職希望者内定率100%。(○)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学進学希望者内定率98%。(○)
III 信頼される魅力ある学校づくり	<p>(1) 渉外(生徒募集)活動と入学者の確保</p> <p>ア 渉外活動の検討・充実</p> <p>イ 入試科目、方法等の見直し</p> <p>ウ 制服のモデルチェンジ</p> <p>(2) 有意義な学校生活と組織、施設設備の改善</p> <p>ア 部活動の充実</p> <p>イ 推薦クラブ等の見直し</p> <p>ウ 校内組織の再編整備</p> <p>エ 校内イントラネット構築</p> <p>オ 施設設備の改善</p>	<p>(1)</p> <p>ア・塾への広報を継続して改善、強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員間の事前準備、情報共有時間を増やし、サマー、オープンスクール、入試説明会の内容改善、円滑な運営を図り、生徒、保護者の満足度を高める。 ホームページのさらなる改善。校長室だよりの週1回更新。 パンフレット委員会における検討を継続する。 私学展及び入試説明会について、全教職員で取り組めるよう役割分担を行う。 <p>イ・普通科アドバンスコースの入試教科を5教科とする。</p> <p>ウ・制服検討委員会で検討をはじめめる。</p> <p>(2)</p> <p>ア・部活動を活性化し、生徒の加入率を向上させ、活気ある高校生活が送れるよう、環境整備や安全対策を強化する。</p> <p>イ・女子バレー、女子卓球部の募集を開始する。</p> <p>ウ・渉外室の入試広報部(仮称)への改組等も視野に入れ、校務運営委員会等で議論を積み上げる。</p> <p>エ・校長室のNASサーバーへの接続を整備する。</p> <p>オ・未耐震化施設のR4年度からの工事計画を策定する。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・塾長説明会の出席150塾以上(R1 113)、塾訪問延べ2000以上(R1 2000)。</p> <ul style="list-style-type: none"> オープンスクール来校者2回合計で400組以上。(昨年324組) アクセス数の20%以上増加。 R4年募集へ向けた構想を策定。 一人1回は、何らかの業務を分担する。 <p>イ・2021年度入試における円滑な実施。</p> <p>ウ・モデルチェンジ案の作成。</p> <p>(2)</p> <p>ア・加入率の45%以上(R1 6月43%、2月43%)、近畿大会以上の大会進出クラブの増加。</p> <p>イ・クラブの立ち上げ。</p> <p>ウ・入試広報部(仮称)の立ち上げ。</p> <p>エ・工事、作業等の完了。</p> <p>オ・計画案の完成。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・塾長説明会の出席71塾79名(R1は2回実施、R2はコロナ禍のため1回実施)、塾訪問延べ1902。(○)</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ対応で1回のみ実施で149組。(△) アクセス数38%増加。新規ユーザー数12%増加。校長室だよりの51回更新。(◎) 入試広報業務に引き継いだ。(○) 役割分担の上、諸行事に取り組めた。(○) 実施できた。(○) 新制服制定完了。(○) <p>(2)</p> <p>ア・クラブ加入率6月42%、2月(1、2年)48%(△)</p> <p>イ・R3年度より女子バレー・卓球部発足。(○)</p> <p>ウ・R3年度より入試広報室発足。(○)</p> <p>エ・設置完了、運用はR3年度開始。(△)</p> <p>オ・R3年度に着工・施行完了予定。(◎)</p>